

CONTENTS [目次]

・病院長復帰の日を迎えて

INFORMATION [インフォメーション]

・健康講座が開催されました



健康講座が開催されました

去る3月15日(土)アクトシティ浜松コンgressセンターにて、健康講座が開催されました。コロナ禍では中止していた健康講座も今年で15回を数えます。今回のテーマは「足のむくみ」に焦点を当て、治療法などをお話いただきました。また、むくみ予防のための体操を参加者全員で実際に行い、大変楽しい時間となりました。あいにくのお天気でしたが、たくさんの方にご参加いただき誠にありがとうございました。今後も、地域の皆様のお役に立つ講座を開催してまいります。



お知らせ

ゴールデンウィーク中の診療については下記をご覧ください。

5/3(土)祝

休日当番医

詳細は新聞等でご確認ください

GW期間の
休診日

4/29(火)祝 5/4(日)

5/5(月) 5/6(火)

バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



バス時刻表

「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時	[49]	6時	[49] [58]
7時	[27]	7時	[27] 42 [42]
8時	[23]	8時	[21] 4 [21]
9時	[07] *	9時	[05] 4 * [03] *
10時	[07] *	10時	[05] 4 * [04] *
11時	[07] *	11時	[05] 4 * [04] *
12時	[07] *	12時	[05] 4 * 04 *
13時	[07] *	13時	[05] 4 * [04] *
14時		14時	[05] * [04] *
15時		15時	[05] * [05] *
16時		16時	[05] * [44] [05] [52]
17時		17時	[21] [51] [52]
18時		18時	[31] [51]

「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時	[09]	6時	[09] 55 [26]
7時	[25]	7時	[25] [07] [38]
8時	[10]	8時	[10] 28 [19] [57]
9時	[04]	9時	[04] [52] [52]
10時	[45]	10時	[47] [45]
11時	[45]	11時	[47] [45]
12時	[45]	12時	[47] 45
13時	[45]	13時	[47] [45]
14時	[45]	14時	[47] [45]
15時	[45]	15時	[47] [49] 45 [45]
16時	[26]	16時	[26] [44] 45 [56]
17時	[02]	17時	[02] [34]
18時	[35]	18時	[35] [34]

す:すずかけセントラル病院経由 水:浜松市総合水泳場行 学:開校日のみ運行 南:浜松南高校登校日のみ運行
[]内は超低床/ノンステップ「オムニバス」運行予定(車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

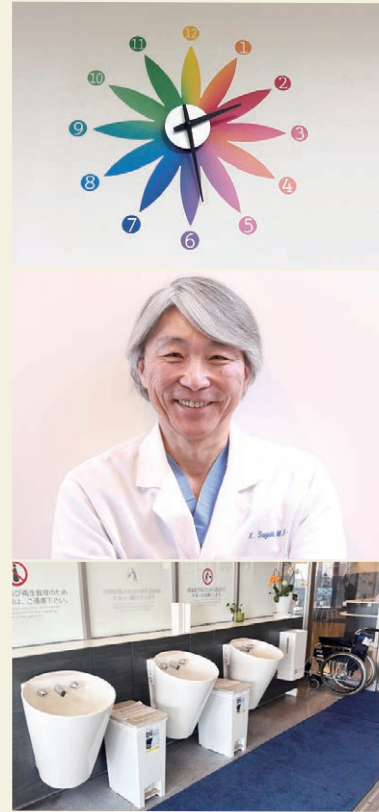
編集後記

新年度を迎え1ヵ月が経とうとしています。新入職員の皆様は、新しい環境に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。様々な調査で春が四季の中で人気No.1になっていますが、最近は夏と冬の期間が長く、春や秋の期間がとても短く感じます。そのような貴重な春のシーズンをしっかりと満喫できるよう、健康管理には十分に気を付けたいですね。





SUZUKI KAZUYA



2012年開院より長年病院長を務められた鈴木一也先生が、今年度病院長として復帰されました。
今後も、患者さんのため、地域のために力強く邁進してまいります。

病院長復帰の日を迎えて

■ボランティア活動（山間部の無医村での検診など）でネパールに滞在していた二〇二〇年初頭、ヒマラヤの麓、バスも通っていない田舎でさえも新型コロナウイルス感染症のパンデミック（Covid-19）の噂は、響き渡っていた。数日遅れたら、しばらく帰国できなかったかもしれない。すでにマスクや消毒用のアルコールは我々医療従事者でさえ手に入りにくくなっていた。

■帰国後、すぐに本棚の奥から「復活の日」（私が小学生時代、小松左京氏が一九六四年に執筆したSF小説）を引っ張り出した。医学生時代に、面白くて一気に読破していた。『遣伝子操作で新たな危険なウイルスが作り出され、世界中がパニックになり人類が滅亡するかもしれない……。』そんなことができるはずはない、起こるはずはない、と思いつつながら。当時、遣伝子操作などという言葉さえも医学生でも思い浮かべる事のない時代であった。その学生時代から数十年（執筆から六〇年近く）経過したにも関わらず、小説の内容は現在の新型コロナウイルスによる世界中のパニックを見通していたかのような、新鮮かつ衝撃的であった。

■二〇二二年十一月開院の約二年前、すでに設計は完了し基礎工事が始まっていた。設計図を見て変更を依頼した、変更がなされなければ院長になるつもりはなかった。数々の依頼のうち、大きな変更点は「玄関に複数の手洗い場所」「発熱患者さん専用の診察室」を設置すること。すでに工事が始まっていた中の変更で、相当苦勞し、出費が膨らんだに違いないが、経営陣は勇気を持って受け入れてくれた。しばらくはさほど利用されなかったが、新型コロナウイルスの発生により俄然機能を発揮した。

〓出入り口に手洗いのない病院には行きません〓と言ってくれる患者さんが増えた。こんな病院はどこにも無い。パンデミックを予測したわけではないが経営陣の決断に今でも感謝している。

■開院直前には、いろいろなロゴを各部署のドアなどに貼り付けた。十三年目に入り、残っているのは手術室入口の〓Nice team work, thank you!（すじいチームワークだ、ありがとう）〓と私の部屋の入り口の〓Why not innovate for the team（躊躇なくどんどん改革しよう！チームのため〓患者さんのため、地域の皆さんのため、スタッフのため）〓だけがセピアカラーに染まりながらも輝いている。スタッフみんなが新しい病院を作っていくんだという趣旨で、壁時計のオリジナルデザインを募集し、投票で選び、一〇種類のデザインを採用した。世界に当院にしか存在しないオリジナル時計は、今も各部署で時を刻んでくれる。作者であるスタッフの顔が浮かび、思わず頬が緩む。日本一清掃が行き届いた病院にしてくださいと、清掃係に頼んで十二年。来院者は、誰もが綺麗ですね〓と言ってくれる。清掃のお姉さん達に感謝、感謝。

■人のやることだ、一〇年も経てば弛んで来る。自戒して反省しながら、先を見て社会の変化や医学の進歩に追い越されないよう努力しよう。できれば未来を先取りしながら（笑）ものにならぬように（患者さん、スタッフ、地域の人々のために気持ちよく機能する病院でいられるように、今こそ〓Nice team work, thank you!〓、〓Why not innovate for the team〓のロゴが〓復活の日〓を迎える。



NEW FACE!

ニューフェイス!

TOPICS



春の到来と共に、新しいスタッフが勢ぞろい。みなさま、どうぞよろしくお願い致します！

2025 Suzukake Central Hospital